

玉川上水・野の花だより No. 1 1

ホタルブクロ (*Campanula punctata*)

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 5月18日

大山緑道（四條橋～五條橋）にホタルブクロ (*Campanula punctata*) が、咲き始めました。ホタルブクロは、キキョウ科の多年草で、初夏に釣り鐘状の花を咲かせます。まだ、5月ですが、夏日のような毎日が続いていますので、早めの開花となっています。

ホタルブクロの名称は、釣り鐘状の花の中に、子どもたちが蛍をいれて遊んだことに由来すると言われています。おさなごを慈しむ心が偲ばれる野の花です。

明るい林縁に見られる花で、色は、淡い桃色から濃い紫まで様々で、純白に近い花もあります。大山緑道で、真っ先に咲きだしたのは紫の花です。1週間ほど前からつぼみがふくらみはじめ、いま、満開です。白花も、たくさんのつぼみをつけていて、今週末には、美しい白花がみられると思います。

学名のカンパネラは、釣り鐘（つりがね）の意味ですが、様式に違いはあれ、古今東西を問わず、「祈りの場」に響いています。法隆寺、東大寺、石山寺、ベネチアのサンマルコ広場、シエナ大聖堂、遥かヒマラヤ山麓の僧院など、鐘の響きと風景は、一体の物語として立ち上がってきます。

フジコ・ヘミングは最高の鐘の響きを、渾身の力で奏でました。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」で、少年ジョバンニと旅をするカンパネラも、同じ名前です。小さな野の花に込められた思いは、時を超え、風のように吹いています。



ホタルブクロ

2026年5月18日 撮影